

# 議員活動通信

## 日田市議会議員



### なかしま章二

#### 【連絡先】

電話：fax 0973-22-7102

携帯：090-8412-9143

住所：日田市港町 8-64

新年あけましておめでとうございます

旧年中は大変お世話になりました

本年もよろしくお願いたします



### 子どもの居場所づくりと 子育て家庭支援について

令和3年12月日田市議会定例会議員間討議  
令和3年12月10日(金) 10:00~  
中島 章二

#### 議員間討議のテーマ提案

## 令和3年第4回

## (12月)定例会

令和3年第4回(12月)定例会においては、追加議案を含めて条例の一部改正や令和3年度一般会計補正予算など、14件が提出され、慎重に審議し、閉会日の採決の結果、令和3年度一般会計補正予算案(第7・8・9号)、診療所事業特別会計補正予算、水道事業会計補正予算を可決し、その他の議案は原案通り可決しました。

また、9月議会において提出されていた「中津江ホール解体・廃止方針の再検討と同ホール存続に関する請願書」については、継続審査として、閉会中審査を行ってきたところですが、今議会で審査を行い、地元振興協議会との合意形成が図られたことと、今後の地域福祉の向上、人口減少・超高齢化社会への対応などを総合的に検討した結果、教育福祉委員会、本会議でも賛成少数で不採択となりました。

# 令和3年度12月補正

## 令和3年度補正予算 (第7・8・9号)

12月補正では、新型コロナウイルスワクチンの追加接種(3回目)や令和3年8月の大雨により被災した道路(98件)・河川(23件)橋梁(3件)・農地(17件)・農業用施設(3件)や林道(15路線16か所)等の復旧費用のほか、清掃センターの焼却設備の交換にかかる費用の増額や、新型コロナウイルス感染症対策として、子育て世帯に対する生活支援や、県と連携したプレミアム付商品券の発行による経済対策にかかると費用の追加などを行うものです。

歳入歳出それぞれに、21億5737万2千円を追加し、補正後の予算総額を411億6693万7千円とするものです。

一般会計補正予算(第7.8.9号合計)の規模		(単位:千円)	
当初予算	現予算	今回補正	補正後予算
38,111,857	39,009,565	2,157,372	41,166,937
(参考:令和2年度12月補正後予算額 51,599,509千円)			

## 令和3年第4回日田市議会定例会 新規事業補正予算(第7・8・9号)

番号	新・継	事業名	補正予算案額	備考
1	新規	農地集積協力金交付事業	5万9000円	
2	新規	農産物販路開拓事業	30万0000円	
3	新規	畜産施設環境対策事業	227万1000円	
4	新規	雨水幹線水門整備事業	750万0000円	
5	新規	子育て世帯への臨時特別支援事業	9億8650万3000円	対象児童一人当たり10万円
6	新規	地域消費喚起プレミアム商品券支援事業	2億0991万5000円	

### 地域消費喚起

#### プレミアム商品券支援事業

この事業は、コロナ禍での外出自粛や時短要請等の影響により、飲食・宿泊業のみならず、サービスや小売など幅広い業種の事業者が売上の減少に苦しんでいる県内経済の本格的な回復に向けて、業種を問わず個人消費を活性化させていくため、県と連携し、プレミアム付商品券を発行するもので、紙商品券【共通券】6万冊(事前申込)、電子商品券【中小店用】6万口(先着順)、ともにプレミアム率30%で、6500円分を5000円で販売予定です。事業の詳細はプレミアム付商品券発行実行委員会(商工会議所・商工会)にて協議決定します。

### 子育て世帯への

#### 臨時特別支援事業

「子育て世帯への臨時特別支援事業」については新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中、子育て世帯の生活を支援するため18歳以下

下の児童を養育する世帯に対し、臨時特別給付金として対象児童一人につき10万円を支給するもので、支給対象者への案内や周知の徹底を図り、支給漏れが無いように要望しました。

### 新型コロナウイルス

#### ワクチン接種事業

ワクチン追加接種の効果に関しては、2回目接種後より、3回目接種後の方が、より高い免疫原性の増加が確認されていることから、国の対応方針を踏まえ、追加接種(3回目)を実施します。

### 「議員間討議」

今回は「子どもの居場所づくりと子育て家庭支援について」というテーマを私が提案しました。新潟県三条市の先進事例等を紹介しながら、日田市の施策について活発な討議となりました。議員全員での討議から、これからの日田市の子育て施策に反映できる政策提言へとつなげたいです。



## 上・中津江地区福祉保健施設整備事業について

## 「上・中津江地区福祉保健施設移転整備事業に関する経過報告」(令和3年)

2月10日	上津江地区住民説明会(57名) 令和3年第1回市議会定例会で下記予算案が提出される 「中津江地区福祉保健施設移転整備事業」【2,432万7千円】
19日	①中津江高齢者生活福祉センター建設工事設計業務委託【1,501万5千円】 ②中津江ホール解体設計業務委託【160万6千円】 ③用地購入【770万6千円】
22日	中津江地区住民説明会(63名)※市が10日の上津江地区住民説明会と異なる方針説明
3月22日	教育福祉委員会の審査を経て2つの修正案が出される ①事業全体【2,472万7千円】を減額する案⇒賛成少数で否決 ②事業の一部【931万2千円】を減額する修正案⇒賛成多数で可決 委員会決議として、「中津江ホール解体」と「用地購入」は認めない。
25日	★本会議で教育福祉委員長が予算を一部減額する委員会修正案を報告 ★委員会修正案以外に議員提案の2つの修正案が提出される ①事業全体【2,432万7千円】を減額する修正案 ②委員会修正案に加えて、個人番号カード交付事業などを減額する修正案 ⇒議員提案の2つの修正案はいずれも賛成少数で否決 ⇒委員会修正案を賛成多数で可決 ★委員会修正案を除く予算原案を賛成多数で可決
5月6日	中津江から「公共福祉施設移転整備方針にかかる同意書」提出(意見付き)
6月4日	中津江地区「上・中津江地区公共福祉施設整備に関する住民説明会」
8日	「上・中津江地区公共福祉施設整備に伴う保護者懇談会」
16日	上津江振興協議会(自治会長・事務局長)と協議「上・中津江地区公共福祉施設整備に関する説明会に向けた協議」
22日	中津江地区「上・中津江地区公共福祉施設整備に関する代表者会議」1回目
7月13日	中津江地区「上・中津江地区公共福祉施設整備に関する代表者会議」2回目
15日	上津江振興協議会
8月3日	上津江地区社会福祉協議会説明
10日	中津江ホールを愛する会「中津江ホール解体・廃止について、再検討および存続へ向けた要望書」市へ提出
16日	上津江地区住民に「アンケート調査」実施(8月16日から25日まで)
18日	中津江地区「上・中津江地区公共福祉施設整備に関する代表者会議」3回目
19日	中津江ホールを愛する会「中津江ホール解体・廃止方針の再検討と同ホール存続に関する請願書」議会へ提出
9月3日	中津江振興協議会「民地購入について」口頭での要望
15日	日田市議会 請願に対し継続審査とする
28日	上津江地区振興協議会に「アンケート調査」結果報告
10月7日	中津江ホールを愛する会へ「要望書の回答」
11月1日	中津江地区「上・中津江地区公共福祉施設整備に関する代表者会議」4回目
4日	中津江振興協議会「民有地取得の要望書」市へ提出
8日	中津江ホールを愛する会への説明会
11日	中津江ホールを愛する会への資料提出
11日	上津江地区振興協議会長から要望書提出
13日	中津江地区住民説明会(基本方針案の説明)
30日	令和3年第4回市議会定例会告示 ①日田市中津江ホールの設置及び管理に関する条例廃止議案 ②中津江ホール解体設計業務委託【190万】 の2議案が提案される。
12月15日	教育福祉委員会で審査の結果 ①日田市中津江ホールの設置及び管理に関する条例廃止議案⇒賛成多数で可決 ②中津江ホール解体設計業務委託【190万】⇒全会一致で可決 ③中津江ホールを愛する会「中津江ホール解体・廃止方針の再検討と同ホール存続に関する請願書」⇒賛成少数で不採択
20日	本会議の結果 ①日田市中津江ホールの設置及び管理に関する条例廃止議案⇒賛成多数で可決 ②中津江ホール解体設計業務委託【190万】⇒賛成多数で可決 ③中津江ホールを愛する会「中津江ホール解体・廃止方針の再検討と同ホール存続に関する請願書」⇒賛成少数で不採択



## 上・中津江福祉施設移転整備事業についての私の考え方

上・中津江地区の公共施設については、土砂災害特別警戒区域内に位置しています。このため、平成29年から未だの対策として、より安全な場所への移転を検討して来ましたが、令和2年7月豪雨により、中津江村栃野の、中津江高齢者生活福祉センター(安寿苑)が被災、全壊したことから、早急に移転・再建場所を検討してきた中で、日田市中津江ホール敷地内を候補地としました。

新施設の基本設計を中津江ホール敷地内で進める中で、ホールの老朽化や利用実態を踏まえ同施設を解体し、跡地を福祉施設用地として整備するため、今議会で設置管理に関する条例廃止議案が提案されました。この議案に係り、令和3年第1回定例会において、中津江高齢者生活福祉センター建設工事設計業務委託、中津江ホール解体設計業務委託、用地購入費、上津江すぎっ子こども園となかつえ保育園移転統合する新園舎設計業務委託の予算案が提案され、審議の結果、中津江高齢者生活福祉センター建設工事設計委託と新園舎設計業務委託が可決されています。

3月時点で、私は市の地元への説明や協議の不足から、住民合意がなされていない状況と判断したこと、予算案の詳細な内容についても不明瞭な点があったため、再度、地元との協議を重ねること、上中津江地区の福祉事業全体のビジョンを持ったうえで、全事業をもう一度詳細に考案し、再提案することを意見したところでした。



新年度に入り、中津江地区代表者会議と市や関係機関とで協議を重ね、基本設計が住民との合意のもとで作成されたことや、住民説明会を行ったこと、住民説明会を行ってきたとの説明が執行部からありました。そのような状況から、3月定例会時点とは異なり、今回の提案は地域住民と協働で作成された内容となっていると考えます。

11月13日に開催された中津江地区住民説明会の意見の中に、ホールを残した場合の維持管理について、将来的に子どもたちに負担を残す可能性を心配したのもありました。これからの、地域福祉の向

上、運営・管理面の課題等を考慮すると、中津江振興協議会からのホール解体に同意するという意思が表明されているように、ホール解体についてはやむを得ないと考えます。

また、災害復旧という観点からは、少しでも早く、そして利用しやすい施設の再建が行われることが、地元住民や利用者の方たちの願いであることから、早期に事業をスタートさせる必要性を感じます。

この福祉施設の移転事業については、当初、上津江地区と中津江地区と一緒に協議を行ってきたことから、今回の中津江地区の安寿苑再建とあわせて、上津江地区の福祉事業の今後についても、しっかりと対応していただく必要性があります。上津江地区に対しては、今後は市長が中心となって、しっかりと体制を整え、協議の場を設け、合意形成を図る丁寧な対応していくことを強く要望したうえで、ホールを解体し新施設を建設することに賛成しました。

発行：日田市議会議員 中島 章二

〒877-0006 大分県日田市港町8-64

携帯電話：090-8412-9143

